

工事実績 DB

総合評価で勝ち残るために。

工事実績 DB

総合評価に向けた工事実績のデジタル化。記憶に頼っていた自社の工事実績を財産として蓄積

工事実績DBについて | データベース化された工事実績の活用

自社の工事実績を財産として蓄積したい!

総合評価入札方式が拡大する中、企業や技術者の施工実績は大切な財産になる。それらの施工実績の蓄積を怠ってはいられない。担当が分らない場合や、その年度集約業務や印刷を通じて確認作業に追われているのが現状。過去の施工実績をデータベース化して、入札業務にスムーズにしたい!



大切な確認資料を一元管理したい! 工事と人事データの連携を図りたい!

建設業者さまからのこんな声に応えました。



総合評価に向けた工事実績のデータベース化!

入札条件の業務改善! 工事実績の基本情報はCORINSデータを参照可能。基礎情報に確認資料として必要な請負契約書や竣工図などの竣工図書を経行し蓄積できます。

- 技術者不足問題
- 書類のバックアップ
- 総合評価対策

※入札の検索で地図機能 各の条件はご入力し、どこがいちで落札したか? 分析に必要な情報は、工事実績DBでトータル管理!

※CORINS (コリス) は、建設法人日本建設情報センターの登録商標です。 [注意事項] ※工事実績DBは、テキスト形式で提供させていただきます。

工事実績 DB

総合評価に向けた工事実績のデジタル化 記憶に頼っていた自社の工事実績を財産として蓄積

入札案件における発注者からの要求が高度化し、複雑化している総合評価時代!この時代で勝ち残るためには、多くの情報を収集し、いかに有効活用するかが決め手となります。「工事実績DB」は、貴社の財産である工事実績を蓄積し、同種工事の検索や配置予定技術者の検討などをアシストし、総合評価対策に大きな貢献をもたらします。



★ 保守会員なら地図機能もご利用可能!

今まで紙に書き込んでいた情報を、工事実績DBでデジタルマッピング! 過去の施工実績を地図上に表示し、貴社の貴重な実績を視覚的に確認することができます。インターネット接続で、常に最新の地図上に施工実績が表示されます。 ※画面はイメージ画像です。 ※地図表示には、インターネット接続環境が必要となります。



新総合評価 (二極化) 導入で高まる工事実績の重要性

「同種性がより高い」と判断される応募者に対して評価点を優位に配点

充実した同種工事検索で、工事内容を検索

従来の資格要件に加え、施工数量、設計規模、構造形式などの複数の条件による組み合わせも検索可能。過去の工事実績をより早く正確に探し出します。

＜資格要件例＞
A) 河川における連続ブロック張、コンクリートブロック張又はコンクリートブロック積のいずれかによる護岸工事であること。
B) 位置決めを伴う河川工事であること。
＜評価項目区分例＞ 同種要件: 施工数量 + 設計規模で求める場合
①より高い同種性: コンクリートブロック張工 2,000m²以上及び埋込ブロック製作・設置 30/個の実績
②高い同種性: コンクリートブロック張工 2,000m²以上及び埋込ブロック製作・設置 20/個の実績
③同種性が認められる: 上記①②以外の場合

詳細な施工数量や設計規模にも対応

企業はもちろん、技術者の工事成績平均点も簡単集計

新総合評価 (二極化) の施工能力評価型!型では、技術者の評価配分が以前より高くなったことが特徴のひとつです。企業の工事成績はもちろん、条件に応じた技術者の工事成績平均点を容易に把握し、勝てる配置予定計画をアシストします。

平均点: 77.00
最高点: 86.00

重みの増す継続教育(CPD)の取組状況も技術者情報としてDB化

新総合評価 (二極化) の施工能力評価型!型では、1点の重みが倍増します。特に、継続学習 (CPD) のような、技術者努力により点数の見込まれる評価は、もれなく管理していきます。CPD集計では、発注機関ごとに異なる集計期間も自由に設定できるので、技術者のユニット取得情報を確実に蓄積、管理できます。

クラウドへのバックアップ保存で、BCP対策も万全!

Point 1 法改正により追加で義務付けられた営業に関する書類を実績と合わせて保存可能 建設業の営業に関する書類として、これまで請負った工事の名称等を記載した帳簿及びその添付資料として請負契約の写し等の保管を義務付けられていますが、H20年の建設業法改正を受けて、以下の図書の保管義務が追加されています。
①完成図 ②発注者との打合せ簿 ③施工体系図

Point 2 災害対策を考慮したクラウドへのバックアップを実現 各地方整備局で応じを見せる『企業の継続力認定制度』。都社の重要なデータの災害対策は万全ですか? 災害対策を考慮したバックアップは、確実だけでなく早期復旧できるかがカギとなります。会社の財産である工事実績をデータベース化した状態でクラウド保存すれば、確実性はもちろん、すぐに取り出せる状態で復元できるので、早期復旧が望めます。

近日 対応予定